

あかるく かしこく たくましく

令和6年3月15日 No. 52 文責：校長 佐野紳二

6年生の活躍を振り返る 卒業生に贈る言葉の一部として

今日は3月15日、来週行われる第150回卒業証書授与式が間近に迫ってきました。私は6年生とは教頭時代の1年間（6年生が3年生だったとき）と今年の計2年間、小笠原小で同じ時を過ごしました。3年ぶりに再開した子どもたちは大きく成長し、今年1年間、小笠原小の最上級生として素晴らしい活躍をいろいろな場面で見せてくれました。

今号では6年生の卒業をお祝いし、今年1年間の6年生の活躍を振り返ってみたいと思います。



私が6年生と再会したのは4月5日、入学式の前日準備の日でした。入学してくる1年生のために会場づくりや校内の清掃に黙々と取り組む6年生の姿を見て、とても頼もしく感じたのをつい昨日のこのように覚えています。最初の児童会行事、対面式では入学したばかりの1年生の手を引いてあげる6年生の優しいまなざしが印象に残っています。児童会活動では「レインボー！きずなと挑戦で輝けあやめっ子！」のスローガンのもと、キラキラ輝く笑顔いっぱいの学校づくりを進めてくれました。特にたてわり班遊びやゲーム集会で、全校のみんなが学年の枠を超えて一緒に楽しんでいる姿を見て、私も嬉しい気持ちでいっぱいになりました。さまざまな活動の事前準備をしっかり行い、全校の子どもたちが楽しめる時間を創り出してくれた6年生の努力に、改めて敬意を表したいと思います。

5月に行われた親睦球技会では、仲間と声を掛け合い、ひとつのボールを最後まであきらめずに追いかけるみなさんの姿が心に残っています。ポイントを上げるたびにみんなで喜び合い、すべての対戦で勝利を収めた皆さんの団結力に、改めて感心させられました。

球技会が終わって間もなく出かけた2泊3日の修学旅行。心配していた雨も6年生みんなのパワーで吹き飛ばして、

班の仲間と力を合わせて歩いた鎌倉自主見学、久しぶりに訪れることができた東京、キッザニアでのほじけるようなみなさんの笑顔、仲間との絆をより深めることができた3日間になりました。

長い間、制限されていた水泳の学習や家庭科の調理実習も今年度は制限なく、通常通り行うことができました。エプロン姿でフライパンや鍋、包丁を持って調理をする6年生の姿を久しぶりに見ることができ、コロナ禍での学校生活も一区切りついたことを実感しました。

2学期に行われた運動会は、競争競技と声出し応援が復活しました。全校の先頭に立って声を出し、仲間を鼓舞する6年生の姿は本当にかっこよかったです。また、表現運動「KIZUNA-2023-」では、今年もキレのあるダンスと全員の気持ちが一つになったフラッグの演技を披露してくれました。

運動会が終わってすぐに取り組みを始めた陸上記録会の練習では、種目ごとに仲間と声を掛け合いながら協力して練習に取り組む姿が見られました。陸上競技は個人種目ですが、「チーム小笠原」として取り組むことが大切なのだと、みなさんの姿を見てあらためて気づかされました。陸上記録会当日も観客席から大きな声援が聞こえてきました。仲間の応援の声に背中を押され、多くの方が自己新記録を出し、入賞を果たすことができました。

4年ぶりに開催された音楽会では、「風を切って」と「あなたに会えて…」の2曲で美しいハーモニーと素敵な歌声を披露してくれました。全校合唱の「フレンドシップ」も心に残る素晴らしい合唱でした。

2学期の総合的な学習では、小笠原の歴史調べに取り組みました。地域の方々にも積極的にインタビューを行い、改めて自分たちのふるさとのよさを知ることができたのではないかと思います。ぜひ、今回の学習で学んだことをいつまでも忘れず、地域を大切に、そこから世界に向かって羽ばたいていく人になってほしいと思います。



3学期、コロナやインフルエンザの影響をうけることなく、スキー教室を行うことができました。この日は例年がない暖かさのため午後からは小雨となりましたが、悪天候に負けずにウィンタースポーツに親しみました。

3月1日には、今年1年間全校のために頑張ってくれた6年生への感謝の気持ちを込めて、6年生を送る会が開催されました。各学年からのメッセージは、「ありがとう6年生」「中学校でも頑張る」という気持ちが込められた素晴らしいものでした。6年生からのメッセージとドラゴンクエストのテーマの合奏も、6年生の温かさが伝わってくる素晴らしいものでした。

6年間の小学校生活のうち、およそ半分の3年間をコロナ禍の中で過ごすことになってしまった6年生でしたが、最後の1年間はコロナによる様々な制限が解除され、これまで育ててきた6年生のパワーが、さまざまな場面で爆発した1年間でした。

私は現在、卒業式で6年生に贈る言葉を推敲中です。語りたいことはたくさんありますが、時間の制限もありますので、6年生の今年の活躍についてはこの学校通信をもって代えさせていただきます。卒業式では別の話を6年生に贈りたいと思っています。